

電気器具類による火災対策チェックリスト

- 電気器具類等は、日常生活において欠かすことのできないものですが、使用者の不注意や誤った方法により使用した場合は、火災に繋がる恐れがあります。
- 電気器具等を使用する際には、以下のことに注意しましょう。

1. タコ足配線などの電気コードの取扱いに注意する

① タコ足配線と容量オーバーに注意

- 複数の延長コードや電源タップを連結した「タコ足配線」はしない
- 接続可能な最大消費電力を超えて使用しない



※コードや電源タップには、一度に流すことができる電流の量が決められています。決められた容量を超えて使用すると、発熱・発火し火災の原因となる恐れがあります。電源タップの電気の許容量を超えていないか、確認しましょう！

② 電気コードを丁寧に取扱う

- 電気コードを重いもの（家具など）の下敷きにしない
- 電気コードを束ねたまま使わない
- 電気コードを引っ張らない



※電気コードを痛んだ状態や束ねた状態、重いものが乗った状態で使用すると、電気コードの中の銅線が断線し、発熱・発火し火災の原因となる恐れがあります。電気コードは、丁寧に取扱いましょう。また、痛んだ電気コード等は早めに交換しましょう！

2. コンセント周りはきれいにする

- 定期的に点検・清掃する（見えにくい場所のコンセントは特に注意）
- 使わないプラグは抜いておく
- プラグはコンセントにしっかり差込む



※コンセントと電気プラグの間にほこり等が溜まり、付着したほこり等に湿気が帯び、通電すること（「トラッキング現象」）により発火し火災となることがあります。トラッキング現象を防ぐため、時々プラグを抜いてプラグ付近のほこりを取り除きましょう！